

# 一般質問

# 9議員が提案 町政を問う

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究、町民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育長などの方針を問うものです。

24分 25分  
出席議員数 16人



## 一般質問事項

質問者	件名	頁
岩本 知帆	1 下校時水筒に十分な水の補給を 2 町議会選挙も選挙公報の発行を 3 町民参加型の施策立案を	5
松本 忠明	1 ライフラインの安心安全を問う 2 DXで情報提供レベルアップを	6
丸山千代子	1 小中学校給食の無償化実施を 2 PFAS汚染を独自で調査を 3 加齢性難聴の補聴器購入助成を 4 トイレ洋式化100%改修費用	7
野坂 純子	1 学校などトイレの洋式化推進を 2 プール周辺ヘミストシャワーを 3 AED収納箱に三角巾の配備を	8
吉本 智明	1 生平幸田線早急な整備強く要望 2 北部地区坂崎学区の活性化を	9
廣野 房男	1 県道蒲郡碧南線拡幅進行状況は 2 自転車通学で歩道走行は違反か	10
稲吉 照夫	1 荻ほ場整備に田んぼダム設置を 2 幸田駅舎橋上化計画の進展は	11
藤本 和美	1 コロナワクチン副反応の対応は 2 中学校部活動の地域連携は	12
田境 毅	1 令和6年度予算へ施策反映を 2 職員採用試験時期の最適化を	13

議会傍聴記・質問議員の顔写真は別撮りしています。

## 議会傍聴記

「抜苦与楽」の町を  
目指して



あおやま しげお  
青山 茂雄さん

議会を傍聴して改めて、様々な問題のあることを認識した。町民4万2300余名の生活のための、真剣な質疑応答には敬意を表したい。ただ、限りある予算

名は体を表すと言つ。「幸田はこれから」「楽土」となっていくにちがいない。

今、価値観の多様化に伴い「共生」が叫ばれている。そこには、自己変革の領域に視点を向けることも大事と思う。少しでも不安や苦悩を取り除き、和楽を享受できる町を願っている。

「抜苦与楽」の町を推進は、時間のかかる難題のあることも分かる。今、価値観の多様化に伴い「共生」が叫ばれている。そこには、自己変革の領域に視点を向けることも大事と思う。少しでも不安や苦悩を取り除き、和楽を享受できる町を願っている。

議会だよりでは、質問と答弁（各30分以内）を要約してお伝えします。詳しい内容は、会議録を幸田町立図書館で閲覧いただけるほか、幸田町議会ホームページでも公開しています。また、議会の映像はYouTubeで配信しています。



議会映像



過去の議事録



いわもと ちほ 議員  
岩本 知帆

## 下校時水筒に十分な水の補給を

### 今後も子どもたちに指導を継続



学校のウォーターサーバーで水をくむ児童

**問** 猛暑日に児童・生徒が安全に登下校するための熱中症対策は不可欠であり、その取り組みを問う。

**答** 学校での生活における熱中症対策は、

**問** 教育部長▼暑さ指数で判断。冷房の活用とこまめな水分補給を促す。

**答** 児童・生徒の熱中症死亡事故を受け本町の対応に変化は、「熱中症ガイドライン」を策定し実

**問** 暑い日に下校する児童の健康状態も含めた見守りを、地域の人にお願したい。

**答** 学校からのメールなどで、地域の方々に協力をお願いする。

実施した。事故を受けて各学校に対策の徹底をお願いした。

**問** 気温が高い下校時水筒に十分な水の補給を。

**答** 各学校で子どもたちに指導を継続する。

**問** 次期選挙に向けた課題は。

**答** 総務部長▼若年層の投票参加意識の低さが重大課題。

**問** 町議選選挙公報を発行している町は。

**答** 県内では大口、扶桑、豊山、蟹江、東郷、東浦、阿久比、美浜の8町が条例制定。

**問** 次の町議選は選挙公報の発行を。

**答** 同規模自治体を参考に、実現可能な方法を検討する。

#### 町議会選挙も選挙公報の発行を

実現可能な方法を検討していく

先の町議選は、過去最低の投票率となった。幅広い世代に選挙情報を届ける施策を問う。



模擬選挙で真剣に投票する児童たち

**問** ポスター掲示版に公報用QRコードを付けてはどうか。

**答** 対応可能だが、どのような方法が良いか検討する。

**問** 公報を学校で子どもに持たせ、家庭などへ配布出来ないか。

**答** 選挙人名簿に登録された人全部にいき渡らないため難しい。

**問** 選挙啓発として、「選挙だより」のような形での配布は。

**答** 学校の選挙講座の機会に、チラシとして配布する事は可能。

#### 町民参加型の施策立案を

広く意見を聴く手法を検討する

住民ニーズの高度化、複雑化で行政だけの対応が難しくなっている。持続可能な町づくりのために、町民と行政の協働体制のしくみづくりを問う。

**問** 近隣市町で住民が検討・立案に参画するしくみはあるか。

**答** 企画部長▼近隣では岡崎市、蒲郡市、町では扶桑町、大口町が条例策定している。

**問** 町民参加で施策の立案をするしくみをつくりを。

**答** 広く意見を聴く手法としくみづくりのため、先進事例の情報を収集する。